

## 令和5年度第1回新居浜市史編さん審議会会議録

- 1 日 時 令和5年7月31日(月) 13時30分～14時15分
- 2 場 所 新居浜市役所5階 大会議室
- 3 出席者 加藤 龍彦、高橋 聡、末岡 照啓、藤田 達生、藤田 敏樹、大森 隆史、  
山内 隆夫、吉本 拓、尾崎 恵、木俣 浩毅(10名)
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 和田 隆宏、安藤 咲笑香、久葉 裕可、高橋 利光(市史編さん室)  
秦野 親史(別子銅山文化遺産課統括参事)
- 6 傍聴者 なし

## [発言要旨]

## 【事務局】

これより令和5年度第1回新居浜市史編さん審議会を開催します。まず、会議の公開については「新居浜市審議会の公開に関する要綱第3条」により原則公開することとなっていますことから、会議録を公開することにしますので、御了承ください。

本日の審議会は新居浜市史編さん審議会条例第6条第2項の規定により全員出席しており、過半数を超えていますので、この会が成立していることを報告します。

それでは、今年度初めての会ですので、事務局の方から委員の紹介をします。

(各委員、紹介)

## 【事務局】

新居浜市史編さん審議会条例第6条第1項の規定により、これより会長に議事進行をお願いします。

## 【加藤会長】

当審議会の役割としては、お手持ちの「新居浜市史編さん審議会条例」第2条の所掌事務として、市史編さんの基本方針に関する事項、市史の刊行計画に関する事項となっています。刊行計画及び基本方針については、昨年度この審議会で見直しを行い、その方針に基づき、事業を進めています。

本日は、事務局より現在の状況を報告した後、皆様の意見をお聞きし、今後の市史編さん事業に活かしていきたいと考えています。

まず、次第1の「令和4年度の実施報告」について、事務局より説明をお願いします。

## 【事務局】

はじめに、今回初めて審議委員になられた方もいますので、昨年度この審議会において見直し・決定された刊行計画及び基本方針の概要を説明します。

コロナ禍の影響等により県内外の現地調査に遅れが生じ、会議の開催も制限されるなど、刊行計画の見直しが必要となりました。併せて、市史の刊行構成についても、合理的・効果的な市史編さん事業を進めていく上で必要な見直しを行いました。

本編の刊行計画としては、まず歴史分野から取り組むこととし、最初の刊行物である『新居浜市史 史料編 古代・中世』は当初の計画から2年遅れの令和7年度発刊として進めています。刊行総数は、新居浜市の特徴的な部門編「産業遺産」等を加えて、合計13冊としました。刊行の最終年度は当初の計画から1年遅れの令和14年度としています。

基本方針については、理念等に変更はありませんが刊行計画の見直しに伴って、刊行物の構成の部分を変更しました。

次に、令和4年度の市史編さん事業の報告について説明します。

見直した刊行計画に基づき、これまで活動していた「古代・中世専門部会」に加えて、昨年12月に新たに「近世専門部会」「近代・現代専門部会」「太鼓台専門部会」を設置し、各専門部会において今年度より本格的に史料収集、調査などを行っています。

新居浜市史編集委員会は各専門部会長により構成されています。近世専門部会・太鼓台専門部会長は、愛媛大学教授 胡 光教授、近代・現代専門部会長は、住友史料館研究顧問 末岡照啓さん、古代・中世専門部会長は、三重大学副学長 藤田 達生さん、委員長は原副市長となっています。

市民への啓発活動については、「広瀬幸平と五代友厚」と題し、講師に末岡さんを迎えて、市史編さん歴史記念講演会を実施しました。また、今年3月には、古代・中世専門部会の研究成果報告として、『新居浜市史調査報告書 金子家文書』を発行しました。

以上で説明を終わります。

#### 【加藤会長】

ここまでに、ご意見・質問等はありませんか。

#### 【山内委員】

刊行計画について、各部門で執筆の前に調査が入っていますが、調査方針は画一的に決まっていますか。それとも個々に任されていますか。

#### 【事務局】

各部門に先行して古代・中世編に取り組んでおり、現在は刊本調査を中心に進めています。各専門部会の中でどういう調査が必要かなどを決めているが、近世専門部会と近代・現代専門部会は設置されたばかりなので大きな方針等はこれから決めていきます。これについては、次第2の「令和5年度市史編さん事業の取組みについて」で詳しく説明したいと思います。

#### 【山内委員】

調査というのは、あくまでも原稿執筆のための基礎資料ということでやっているのでしょうか。今後、未来永劫残すためにデジタル化などは検討されていますか。

#### 【事務局】

刊行計画を目指して、まずはどの時代も史料編をつくり、その後それに基づいて通史編をつくる、というかたちで進めています。また収集した史料については、デジタル化に向けて検討していきます。

#### 【山内委員】

市史は2032年に完成する予定のようだが、発刊後は必ず改訂や編集し直しが出てくると思うので、調査したものがベースになって次に繋いでいくというような意味合いもなければ、今回ただ出しただけになってしまうと思います。今回調査したものがどういう形で資料化されていくのかが気になって質問しました。

#### 【加藤会長】

この質問に対する回答は以上でよろしいですか。

**【山内委員】**

はい。

**【加藤会長】**

それでは、次第2の「令和5年度市史編さん事業の取組みについて」、事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

令和5年度の編集委員会及び各専門部会については、ご覧の通り開催し、各専門部会の方針及び史料調査や資料収集について協議しました。今後も年度内で随時各専門部会を開催していく予定です。

古代・中世専門部会では、先ほど申し上げた通り、『新居浜市史 史料編 古代・中世』を最初の刊行物として進めているところです。今年度は、幅広く収集した史料の中から史料編に掲載する史料を選択し、来年度(令和6年度)にその史料をデータ化すると共に解説文の作成を行い、令和7年度には組版・印刷製本し発刊する予定となっています。

近世専門部会では、事務局と愛媛大学共同で古文書の調査を行っています。具体的には、大島村上家文書、多喜浜の天野家文書、西条藩家老であった千種家文書などの目録作成と写真撮影を行っています。

近代・現代専門部会では、海南新聞・愛媛新聞の新居浜に関する記事の調査を進めており、また、統計資料等の調査も行っていきます。

太鼓台専門部会では、現在古文書等の歴史資料や写真の収集を進めています。今後、現代の太鼓台の状況を調査する際には各運営委員会・自治会等、市内の関係団体にもご協力いただきながら進めていくこととしています。

また、昨年度は古代・中世専門部会の調査報告として、『新居浜市史調査報告書 金子家文書』を発行しましたが、今年度は『新居浜市史調査報告書 与州新居系図』を発行する予定で取り組んでいます。この与州新居系図は、古代から中世にかけての伊予の豪族であり、現在の新居浜市域を拠点にして勢力を広げた新居氏の系図で、日本三大古系図の一つと言われています。約300年の間で500人ほどが記載されており、新居氏の発展の様子を伺い知ることができます。現在は西条市の伊曾乃神社に所蔵されており、重要文化財にも指定されている貴重な史料です。

今年度の市民への啓発活動としては、昨年度発行した金子家文書の報告書に関連して「金子備後守と天正の陣」と題した講演会を、三重大学副学長 藤田 達生さんを講師にお迎えして、9月30日に開催する予定です。今後開催に向けての広報も随時行っていきます。

これに加えて、市役所や図書館でロビー展を開催し、市史編さん室の取り組み状況を発信したり市民に馴染み深い昭和の写真を展示したりすることで市民に興味を持っていただこうと考えています。基本方針にあるように、市民と共に歩む市史編さんをうたっていますので、市民の協力や理解を得ながら進めていきたいと思っています。

以上です。

**【加藤会長】**

先ほどの事務局の説明について、ご質問・ご意見等あればお願いします。

**【各委員】**

(特になし)

**【加藤会長】**

では、今年度の取組みについては先ほど説明があった内容で進めていけたらと思います。

最後に、その他、市史編さんに関する内容について、委員の皆様からご意見等あればお願いできたらと思います。いかがでしょうか。

**【吉本委員】**

先日発行された金子家文書の報告書について、感想を言わせていただきます。

これは大変貴重な資料です。比較的市民を意識した内容になっていると思います。ご存知のように、古文書の解説はそう簡単に書けるものではありません。今回の報告書では主観的な意見をできるだけおさえて書かれている点は史談会から見ても非常に優れていると思います。この報告書は新居浜市や四国地方の研究、特に四国の戦国大名である長宗我部氏との関係、ひいては本能寺の変の研究において、今後大きな影響を与えるものになると思うので、作成された専門部会と事務局に敬意を表します。

ただし、個々の内容を見てみると立場によって色々な解釈があると思います。史談会においても、金子家文書について検討を始めましたので、様々な解釈があるという点を踏まえて、市民のための市史を作っていただきたいと思います。以上が私の感想です。

**【加藤会長】**

ありがとうございました。

執筆者の皆さんは、吉本さんがおっしゃった点は十分留意されて取り組んでおられると思いますが、今後もそれぞれのお立場で持たれる解釈を踏まえつつ、取り組んでいただけたらと思います。

他にご意見等ありませんか。

**【各委員】**

(特になし)

**【加藤会長】**

それでは、これで議事は全て終了しました。本日出た意見を踏まえて、今後の市史編集委員会、各専門部会において協議し、市史の刊行に向けて着実に取り組んでいきたいと思います。委員の皆様方、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

これで、令和5年度第1回新居浜市史編さん審議会を終了します。ありがとうございました。